

地域・保護者の皆さまに支えていただき 開園60周年

幼稚園だより 1月号

2025年1月6日
港区立芝浦幼稚園
園長 青山 伸子



あけまして おめでとうございます

東京では冬晴れの穏やかな天候の日が続いた年末・年始でした。間もなく、冬休み中にお家の方やお出掛け先で出会った人との関わりをゆったりと楽しんだ子どもたちとの3学期の園生活が始まります。2学期の終業式の際に、冬休み中も気持ちのよいあいさつ、家の中で自分ができるお手伝いを進んでしようという話を子どもたちにしました。それらを頑張ったことや、冬休み中に友達や家族としての遊びのことなどを話題にしながら再び始まった園生活への期待と意欲が高まっていくことを願っています。

さて、12月には、来年度4月から入園予定の新入園児の面接や健康診断等がありました。その際に、芝浦幼稚園をお子さんの入園する園として選択した理由を保護者の方からうかがいました。家から園の距離が遠すぎない、通園がしやすいという理由とともに「園見学の際に、子どもたちの明るい表情やのびやかさが見られた」「思いきり体を動かして遊べる園庭や校庭、ボルダリング等が魅力的である」「自然が豊かで、園で遊びながら植物や生き物と触れ合ってほしいと思った」「体験保育の際に、英語の先生(ネイティブティーチャー)と遊んだり、英語の活動をしたりすることを我が子がとても喜んでいった」「小学校とのつながりが強いと感じた」などの理由を多くの保護者の方が話していました。在園している子どもたちの姿や園の環境、教育内容が園を選択する理由として重要視されていることを改めて感じました。

園の教育内容が子どもたち一人ひとりにとってさらに価値あるものとなるようにすること、在園児保護者の方、新入園児の保護者の方に「芝浦幼稚園に入園を決めてよかった」「園で多様な経験をして子どもが成長した」と実感していただくようにすることが教職員一同の努めであると考えます。

今年は巳年。皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる蛇のイメージから、再生の年、新たな挑戦に対して前向きになる年と言われているとのことです。新入園児の保護者の方をはじめ多くのご関係の皆さまに感じていただいている園のよさ、特色を持続させていくことに加え、子どもたちの実態や地域・保護者の方のニーズに応じた新たな園の魅力づくりにも力を尽くしてまいります。

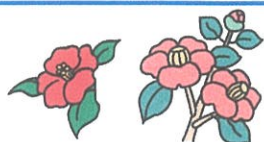
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



冬季休業日中に3学期や開園60周年記念式典等に向けた環境整備を進めました。



園庭のサクラの冬芽
春の開花が待たれます。



〒108-0023 港区芝浦4-8-18
Tel.03(3452)0574
教育活動の様子など、ぜひ園のホームページや公式Xをご覧ください。



芝浦幼稚園ホームページ



芝浦幼稚園 X